

広報

ふじかわ



10月号

●昭和63年10月5日発行 No.327

町のメモ

昭和63年10月1日現在	
人口	17,047人
増減	+3人
男	8,384人
女	8,663人
世帯数	4,498世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵 121



赤勝て、白勝て
勝利への一投

(岩淵保育園運動会)

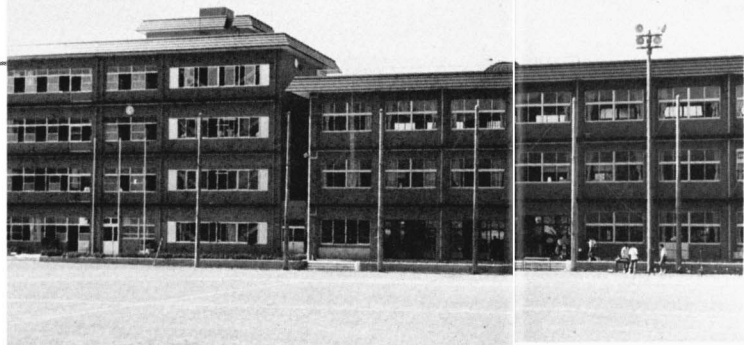
町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

昭和62年度一般会計決算

33億円の使いみちは…

昭和62年度のまちで使ったお金(一般会計と四つの特別会計)が、町議会の九月定例会で承認されました。みなさんの納めた税金はどのように使われたのでしょうか。

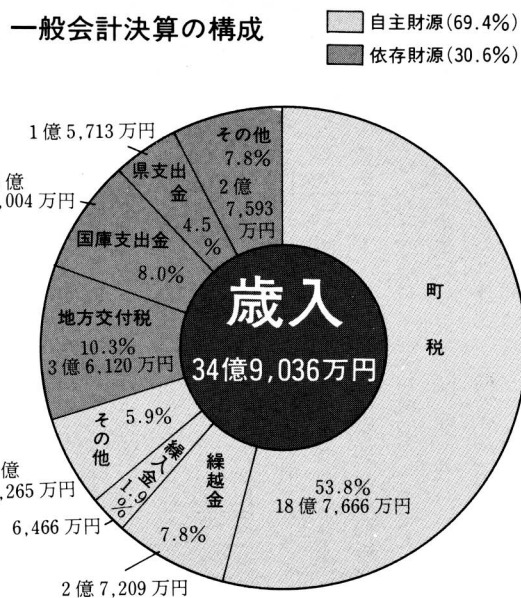
今年の3月に完成した第2中学校校舎



みなさんの生活と最もかわりの深い一般会計の決算額は、歳入三十四億九千三百万円、歳出三十三億三千六百万円でした。また、歳入歳出の差し引き一億六千三百万円が六十三年度に繰り越されました。

事業所から納められる町税が最も多く、歳入全体の約半分(五三・八%)を占め、町民一人当たりに換算してみますと、九万五千三百三十六円の税金を納めていることになり、歳出を項目別にみても、第二中学校の耐震補強・改築に使われた教育費が一番です。また、町道の改良など道路施設の充実に力を入れ、教育費と土木費で全体の四七%を占めました。

教育費と土木費で全体の47%



歳出 33億3,006万円

総務費	4億6,397万円
民生費	2億1,951万円
衛生費	4億0,602万円
農林水産業費	2億4,905万円
土木費	4億8,268万円
教育費	10億6,781万円
消防費	1億9,161万円
その他	2億4,941万円

町民一人あたりに換算すると



人口 17,032人 (昭和63年3月31日現在)

納めた町税 (法人税・交付金除く) 95,136円

使われたお金 195,518円

九月定例会

町議会の九月定例会が、九月十六日午前九時から十五日間の日程で開会されました。常葉雅文町長の一般行政報告のあと、当日提案された議題は、人事案件一件、補正予算三件、契約の締結一件、決算認定五件の計十件で、慎重に審議され三十日にはすべて原案どおり可決されました。

生涯学習の推進

技術革新や情報化・国際化・高齢化など、社会が急激に変化している今日、これらの変化に的確に対応し、健康で心豊かな生きがいのある人を送るために、家庭教育・学校教育の基盤のうえに、自発的・系統的に学習や活動を生涯にわたって続けることが、益々必要となつてきています。二十一世紀を展望した第二次総合計画の基本理念にもとづき、「健康な心と体で住みよい町」にの目標のもとに、町民のみならず、各種団体・グループ及び行政において、諸活動の推進・実践がなされて

町長の一般行政報告

います。さらに、生涯学習の観点にたち、各分野で行われている学習や諸活動、諸事業を体系化し、行政と民間の役割分担を配慮しつつ、その認識と理解や関心を高め、広く町民のみならずにも情報の提供を進めて、より積極的参加が促進されるよう「生涯学習推進大綱」の策定作業を進めていきます。

総合体育施設の建設

第二次総合計画における基幹事業でもある総合体育施設の建設に向けて、将来の展望にたち、町民のみならずの理解を得ながら対処すべく、先般、議会の代表、体育関係者、学識経験者及び町の職員で構成する「富士川町体育施設建

ゾート構想は

「富士・伊豆国際リゾート地域」での重点整備地域の指定にむけて、基礎調査結果の県提出期限が来年の三月と定められ、富士市・芝川町と庵原三町で「富士リバーリゾート構想」の策定に取り組んでいます。この計画には民間施設の導入が不可欠とされ、広範な土地の利用に係ることに

国際化に向けて

総合計画におけるゾーン設定との整合性をはかりながら、総合的・広域的な土地利用のなかで、町の活性化を考えています。

可決された提出議案

- ◎ 教育委員の任命につき同意を求めること
- ◎ 昭和六十三年度富士川町一般会計補正予算
- ◎ 昭和六十三年度富士川町国民健康保険特別会計補正予算
- ◎ 昭和六十三年度富士川町老人保健特別会計補正予算
- ◎ 昭和六十三年度富士松野団地汚水処理施設改修工事請負契約の締結
- ◎ 昭和六十二年度富士川町土地取得特別会計歳入歳出決算認定
- ◎ 昭和六十二年度富士川町老人保健特別会計歳入歳出決算認定
- ◎ 昭和六十二年度富士川町水道事業会計決算認定



一般行政報告をする常葉町長

伝統のよさを知ろう

ふるさと教室で和紙づくり

松野地区「ふるさと教室」(学級生十八名)では、コウゾを原料にした「手漉き和紙」を作ろうと、松野児童館を会場に三回にわたる和紙づくり教室を開いています。

九月十八日(日)の第一回の教室では、講師である佐野晃さん(八幡町)の指導で松野の山で原料のコウゾを採集しま



昔からの手法にチャレンジします

した。集めたコウゾは、皮をむきやすくするために、釜に入れてゆで、それから上皮を丁寧にはがしました。

やがて、繊維は湿った綿のようになり、水に入れると一本一本ほぐれてきます。いよいよ紙漉きです。始めに、細かくした繊維にねり(繊維がまんべんなく水の上に浮かんでいる状態にするもの)を加え、漉船の中に入れてよくかき混ぜます。それから、漉桁を使つて紙の原料をすくいあげ、水を絞り取つたあと乾燥させるとできあがりです。

次に、繊維に含まれているあくを取るためにカセイソーダを加え煮沸。

明治のころまでは松野で盛んにこなわれていた紙漉きも、現在では石川文夫さんのお宅だけとなりました。

参加した親や子供たちは、今は少なくなったといわれるコウゾを知るとともに、原料づくりの大変さを体験しました。

子供たちが、原料を採集し様々な過程を経て和紙を漉きあげる体験をすることにより、富士川町に伝わる「手漉き和紙づくり」の伝統のよさを知

紙を漉くにはこのままでは漉けません。まず、あく抜きをした黒皮(表皮)を取り除きます。それから上皮を漂白したのち、水洗いを繰り返すことにより白皮についている灰汁や汚れを落とす作業を行います。

岩波少年文庫一〇〇冊 バックの原の物語 など多数

紙を漉くにはこのままでは漉けません。まず、あく抜きをした黒皮(表皮)を取り除きます。それから上皮を漂白したのち、水洗いを繰り返すことにより白皮についている灰汁や汚れを落とす作業を行います。

十月九日(日)の紙すきには、町民のみなさんも子供たちとともに参加し、「和紙づくり」を体験してみませんか。



図書室だより

読書の秋に 図書室の利用を

第四十二回読書週間が十月二十七日から十一月九日まで行われます。

この機会に、あなたや子どもたちの読書について考えてみませんか。本にはたくさんの知識が詰まっています。昔を読む、今を読む、未来を読む。本を読んで、知識を豊かに、心を育てていきましょう。

意して、みなさんのご利用をお待ちしています。みなさんからのご意見を参考に、身近な気軽に立ち寄れる図書室にしていきたいと思ひます。新しく購入した本を紹介しましょう。

◎新刊図書コーナー
街なかに雷が落ちて
飯田三千代
人は死ねばゴミになる
伊藤栄樹
春日局
早乙女貢
海のシルクロード(一・二・三)
田辺聖子
古典の森へ
鄭 念
上海の長い夜
鄭 念
十七歳
ボブ・グリーン
思い出のちひろ
松本善明

◎児童図書コーナー

10月~11月の予定

10月

- 16(日) 秋季バレーボール大会(混合の部)・宇多利児童館祭り
- 18(火) 郡小学生陸上記録会・陶芸教室
- 20(木) 一幼・さくら台幼稚園遠足
- 23(日) 各地区対抗町民ソフトボール大会、祖堅方正プラスアンサンブル演奏会
- 25(火) 陶芸教室
- 28(金) 二幼遠足
- 29(土) ふるさと教室・(一小区星座観察) 写生大会(二中)、一中遠足
- 30(日) 老人と子供のグランドゴルフ大会(富士川地区)

11月

青少年を非行から守る強調月間

- 1(火)~3(木) 第34回富士川町民文化祭
- 2(水) 二小・二中遠足
- 6(日) ふるさと教室(縄土器)
- 9(水) 校内合唱コンクール(二中)
- 11(金) 校内合唱コンクール(一中)
- 12(土) 小車祭(二小)
- 13(日) 鈴木杯争奪剣道大会
- 15(火) 陶芸教室・郡小中音楽発表会

八坂神社は大畑にあった

〜岩淵村絵図から〜

今月は岩淵の八坂神社(明治八年に天王宮を改称)のお話をします。

同社は、岩淵村が富士川渡船役を司つた慶長七年(一六〇二)以降、渡船鎮護のため、京都祇園社の祭神である牛頭天王を勧請して造立したものです。初めは大畑(旧岩淵保育園付近)に鎮座していましたが、明和元年(一七六四)正月、火災により焼失したため、同年六月に現在地に仮宮

◀写真2

今から205年前の八坂神社は現在地に移り、仮宮だった。



写真1▶

今から280年前の八坂神社。前年の宝永地震や富士山の噴火にも耐えて立っている。



♪華麗なプラスの饗宴を……♪

NHK交響楽団のトランペット奏者祖堅方正を中心に、明日のプラス界を担う若く優秀な演奏家たちによって結成された「祖堅方正プラスアンサンブル」の演奏会が開かれます。

日時 十月二十三日(日) 午後六時三十分
会場 富士川町中央公民館ホール
出演 祖堅方正プラスアンサンブル
入場料 前売：一五〇〇円 当日：一七〇〇円
※詳しくは、中央公民館までお問い合わせください。
八一―二三三三

よろしく！社会教育主事です



芦川和敏さん



望月とも江さん

あなたも、町の歴史や染色、趣味のグループ活動、軽スポーツなど、いろいろなことをやってみたいという希望があるでしょう。そうしたあなたの希望を町の生涯教育の中に反映したり、あなたへのよきアドバイザーとなるために、

今年、町に二人の社会教育主事が誕生しました。みなさんもよく知っている芦川和敏さんは教育課、望月とも江さんは中央公民館で、あなたの相談をお待ちしています。

戸籍の窓

S・63・8・15(9・14届出分)

おめでた(敬称略)

区名	氏名	保護者	続柄
室野	望月一樹	俊明	長男
八幡町	井上愛美	忠良	長女
八幡町	杉原美歩	正人	二女
八幡町	武井将透		長男
富士松野	久道亮常	男	二男
富士松野	渡邊公太	公	長男
大北町	宇佐美佑哉	一彦	三男

かなしみ

一里塚



小池	池	加藤	育男	三八
大楽	窪	濱崎	武人	三九
大楽	窪	赤松	靖夫	五〇
幸	町	芦川	ウメ	七三
東	町一	望月	亀歳	六八
東	町一	若月	正治	六五
日の出	町	望月	安平	五六
日の出	町	日向	ひさ	六六
南	町二	清水	花子	六八

「ヨイ、ドン」の合図で走り出した三歳の長女は、途

中で相手を気にして立ち止まったりしながらも、どうにかゴールしました。初めての運動会での我子を見て、今年の四月に泣きながら登園したことが、思い出されました。その子が集団の中で、自分なりにがんばっている姿は、とても感動的で、抱きしめたい気持ちで一杯でした。家にいる時は自分勝手に、やりたい放題過ごしていた子が、保育園では決められた生活を送り、自分の気持ちを少しは我慢していることがあると思います。自分の主張・反抗が目立つ三歳の時期ですが、集団生活の中で足並みをそろえて、がんばっています。私も毎日の生活に追われて忘れがちな事ですが、家庭において、母と子のふれ

あいの時間を大切にしていきたいと思えます。私と子どもにとつて、貴重な体験をした秋の一日でした。

(渡辺富美子)

町への寄付金(敬称略)

S・63・8・17(9・19)

社会福祉事業へ

二十万円 小林数馬(小山) 十万円 望月ミヤ子(東町)

お母さんの知恵袋

秋の味覚、キノコ料理
食欲の秋。そこで秋の味覚の代表的なキノコ料理を紹介します。

僧兵焼き(四人分)

材料……牛うす切肉五百〇六グラム(豚肉でもよい)、シイタケ八枚、玉ねぎ大一個、レモン半分、市販のバーベキューソース、ポン酢適量。

作り方……シイタケは石づきを取って、軸ごとみじん切りにして、同じようにみじん切りにした玉ねぎとよく混ぜる。ホットプレートを中火で熱し、薄くサラダ油をひき、1cmの厚さに広げ、その上に、うす切肉をのせ、両面を焼いて、レモンを絞

作り方……シイタケの軸を手でさき、ニンジン

は千切りに。鍋にゴマ油

を熱し、種を取って小口

切りにした赤唐辛子、ニ

ンジン、シイタケの順に

入れて炒め、酒を入れて

からませた後、少し煮て

から砂糖としょうゆを加

え、味をつける。器に盛

り、白ゴマをふるう。

雑誌エッセより

(婦人会 清)

